

国語科学習の発展課題—国語学分野について—

Applied practices on Japanese studies, especially Japanese linguistics

大橋 敦夫

Ohashi Atsuo

要旨

新しい学習指導要領(平成二九年告示)をふまえ、国語学分野に関する国語科学習の発展課題について、私見を提示する。具体的には、二点。まずは、中学生・高校生を想定した、「語彙指導の改善・充実」に資する漢字学習の方法、および辞書指導の展開例である。語彙指導の充実は、語彙が豊富であるという日本語の特質からも、必須の事項である。次に、「我が国の言語文化に関する指導の改善・充実」に資するもので、地域の方言に注目し、総合的な学習の展開を企図するものである。

キーワード：国語教育・学習指導要領・語彙学習・辞書指導・方言・

総合学習

はじめに

新しい学習指導要領(平成二九年告示)が告示された。主なポイントとして、次の諸点が指摘されている(注1)。

- 1 「社会に開かれた教育課程」の実現
- 2 育成を目指す資質・能力の再整理
- 3 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- 4 カリキュラム・マネジメントの実現
- 5 具体的な教育内容の改善等

- ① 国語教育を中心とした言語能力の確実な育成
- ② 理教教育の充実
- ③ 我が国の伝統や文化に対する教育の充実
- ④ 外国語教育の充実

⑤体験活動の重視

⑥各教科における情報活用力の育成

6 スケジュールと教育条件の整理

また、『国語科の学習指導要領の解説』（注2）では、「改訂の趣旨及び要点」の中で、「学習内容の改善・充実」について、次の点を指摘している。

①語彙指導の改善・充実

②情報の扱い方に関する指導の改善・充実

③学習過程の明確化、「考え方の形成」の重視

④我が国の言語文化に関する指導の改善・充実

これらをふまえ、主に中学生・高校生を想定した語彙学習と、方言を教材にした総合学習の展開について、私見を述べたい。

第一章 漢字学習の革新（字形練習→語彙学習へ）

中世期、フランシスコ・ザビエルによって、「日本語は悪魔の言語」と評された。それは、覚えても覚えても、キリがないように思われた漢字の存在が主因である。しかし、現代は、『常用漢字表』によって日常生活に使用される漢字数の目安が示され（二二三六字）、義務教育で学ぶべき漢字も、範囲が明確にされている（二〇二六字）。

入門期の小学校では、ハマスくらい（のノート）を用いて、同じ漢字をひたすら書くような練習から始まるのが一般的であろう。鉛筆という筆記用具になれつつ文字に親しむという点で、これはこれで、意義のある学習方法と言えらる。

だが、年齢があがっても、このままでは、むなしい作業のようになってしまふ。そこで、漢字学習を、単なる字形練習から、語彙を増やす学習に

転換する方法を提案したい。

日本語の語彙は、他言語との比較において、豊富と言われ（注3）、成人の理解語彙は、約三万〜四万語とされている（注4）。したがって、ある程度の漢字の字形を習得したら、それ以後は、字形練習よりも、漢字を軸にし、語彙を豊富にしていく学習を行うようにしたい。

たとえば、次のように、学ぶ対象の漢字（「化」を含んだ語彙を、語構成（上接例・下接例）を意識しながら、漢字音とともに整理し、観察する。さらに、①それらの語の反意語を挙げてみる、②同義語（類義語）との使い分けを例文とともに理解する、③関連のことわざ・慣用句・四字熟語を挙げてみる、のように一字の漢字を軸に語彙を増やす学習を展開するのである。

化

カ「音」 ■□ 化学・化合・化石

□■ 文化・気化・異化

ケ「音」 ■□ 化粧・化身

□■ 変化（へんげ）・権化（ごんげ）

①化学→天然・化合→分解

②文化……文化部の活動

文明……文明の利器

③時化（しけ）を食う・羽化登仙

漢字音に目を向けると、この例のように音の違いが意味の違いとかかわる場合があることが理解できる。

カ [漢音] ……かわる。かえる。
 ケ [呉音] ……はける。ばかす。

また、次章とも関連するが、教室で複数の漢和辞書を引き比べることで、辞書によって、漢字音の認定が違うことに気づく場合もある(注5)。

国語教科書の記述では、漢字音(呉音・漢音・唐宋音)の区別に、あまり力点を置いていない。音読みの違いは、主に時代の違いであって、意味の違いとは関係ない(注6)ので、それでも構わない。が、日本語では、音読みを意味によって使い分けている。以下に、例を追加する。

省

ショウ [呉音] ■ □ 省力・省略・省庁・省令
 ……はぶく・お役所

□ ■ 外務省・財務省
 ……お役所

セイ [漢音] ■ □ 省察・省番
 □ ■ 内省・反省・自省
 ……ふりかえって、よく見る

漢字音の名前までを覚えこむ必要はないが、音の違いで意味が整理できていることを知るのには、記憶に刻み込みやすくなるであろう。

また、語構成を意識することで、意味の識別が明確になる例も、存在する。

漢

カン (呉音・漢音)

勞

ロウ (呉音・漢音)

■ □ 漢字・漢文・漢語 ……中国
 □ ■ 正義漢・熱血漢 ……男性
 □ ■ 天漢・銀漢・雲漢 ……天の川

□ □ 労働・労力・労苦・労作
 □ ■ 勤勞・功勞・疲勞・徒勞・心勞・苦勞

↑「仕事をする」「疲れる」の両義が基本だが、下接例の方が、「疲れる」意の用例が多い。

第二章 辞書の引き比べ

国語辞書を活用した引き比べについて、次の三通りの方法を提案したい。

① 語釈の変遷

A. 通時的変遷

時代が変わり、意味も変わってしまった例を辞書に求めるというものである。例として、「天気予報」を挙げる。大正期の国語辞典の語釈には、次のような例がある。

□ 『大日本国語辞典』(四版 金港堂・富山房 大正六(一九一七) 一一二)

一 天気図に基き、其の地方に於ける天気の変化を察して預め報告すること。

二 多く、あてにならぬ預言。(原文・旧字)

現在(平成期)の国語辞書には、二のような記述は無い。生活実感とし

でも、天気予報は「当たる」ものではないだろうか。とすると、いつごろから、この意味が消えたのか、追跡することが課題として浮かび上がる。

B. 改訂による変遷

折々に改訂される同一の辞書の各版を並べ、語釈の変遷を観察するという方法である。たとえば、「テレビ(テレビジョン)」という語について、『広辞苑』(岩波書店)の各版を並べてみる。

□初版(一九六六・四 第二〇刷)

テレビジョン 実景をそのまま電波によって遠方におくり、映写する装置。アイコノスコープを用いて、光の強弱を電流の強弱に変換し、これが必要に応じて増幅し、主に電波を介して放送する。この電波を電光変換装置によって電流に比例した光度の変化に変換し像を形成させる。電視。テレビ。ビデオ。

□第二版補訂版(一九九七・一〇 第二刷)

テレビ テレビジョンの略。
 テレビジョン 実景をそのまま電波によって遠方におくり、画像に再生する装置。撮像管を用いて、光の強弱を電流の強弱に変換し、これが必要に応じて増幅し、有線または電波を介して放送する。これを受信し受像管によって光度の変化に変換し像を形成させる。電視。テレビ。ビデオ。

□第三版(一九八三・一一 第一刷)

テレビ テレビジョンの略。
 —カメラ
 テレビジョン 実景をそのまま電波などを使って遠方におくり、画像に再生する装置。撮像管を用いて、光の強弱を電流の強弱に変換し、これが必要に応じて増幅し、有線または電波を介して伝達する。

これを受信し受像管によって光度の変化に変換し像を形成させる。電視。テレビ。ビデオ。

□第四版(一九九一・一一 第一刷)

テレビ テレビジョンの略。
 —カメラ
 —ゲーム

テレビジョン ①画像を電気信号に変換し、電波・ケーブルなどで送り、画像に再生する放送・通信の方式。②テレビジョン1の画像を再生する装置。テレビジョン受像機。テレビジョン受信機。テレビ。

□第五版(一九九八・一一 第一刷)

テレビ テレビジョンの略。
 —カメラ
 —ゲーム
 —でんわ(電話)

テレビジョン ①画像を電気信号に変換し、電波・ケーブルなどで送り、画像に再生する放送・通信の方式。②1の画像を再生する装置。テレビジョン受像機。テレビジョン受信機。テレビ。

□第六版(二〇〇八・一 第一刷)

テレビ テレビジョンの略。
 —かいぎ(会議)
 —カメラ
 —ゲーム
 —シヨッピング
 —でんわ(電話)

テレビジョン ①画像を電気信号に変換し、電波・ケーブルなどで送り、画像に再生する放送・通信の方式。②1の画像を再生する装置。テレビジョン受像機。テレビジョン受信機。テレビ。

通覧すると、初版では、機械の構造に説明の重点が置かれており、これまでなかった物の仕組みの解説に熱心であるが、電気関係の専門用語がやや難しい。語釈がすつきりとしてくるのは、第四版からである。また、第二版からは、略語(「テレビ」)が立項されている。さらに、派生語も第四版から、増え始める(「テレビゲーム」(第四版) + 「テレビ電話」(第五版) + 「テレビ会議」「テレビショッピング」(第六版))。

これらは、いずれも、テレビの普及率と関わりがあると考えられる。

② 版型による語釈の相違

小型・中型・大型の国語辞典を並べ、意味記述を比較する。例として、「イデオロギー」で比べてみる。

□ 『三省堂国語辞典』(第七版第一刷 二〇一四・一)《小型》

① 「哲」(その人またはある集団の) 歴史的・社会的立場にもとづいて作られた、根本的な考え。観念形態。

② 思想。主義。主張。

□ 『広辞苑』(第六版第一刷 二〇〇八・一) 《中型》

① トラシーらを空論家として非難したナポレオンの侮辱的用法を用いて、マルクスが用いた語。歴史的・社会的に制約された観念形態の意。

② フランクフルト学派の批判理論では、虚偽意識として批判の対象とされる。

③ 転じて、単に思想傾向、政治や社会に対する考え方。

□ 『日本国語大辞典』(第二版第一刷 二〇〇〇・一) 《大型》

① 歴史的・社会的に全体として規定された考え方の型。

② 政治、社会に関する基本的な考え。思想傾向。

(用例文・省略)

版型が大きい方が、語釈のスペースが十分にあり、より充実した意味記述が期待できる。小型は、語釈スペースに限らず、何かと制約があるが、中学生にわかる説明文を心がけている『三省堂国語辞典』の苦心を味わいたいところである。『広辞苑』は、百科項目の収録を特色の一つにしているので、中型ながら、詳しい解説を展開している。

③ 語釈の対照

同一の版型の辞書で、同じ語を引き比べ、そこから各辞書の個性をうかがおうとする試みである。例を「恋愛」とする。

□ 『岩波国語辞典』(第七版新版第一刷 二〇一・一) (一)

男女間の、恋いしたう愛情。こい。

□ 『明鏡国語辞典』(第一版第二刷 大修館書店 二〇〇三・四)

互いに異性として恋い慕うこと。また、その感情。

□ 『新明解国語辞典』(第六版第五刷 三省堂 二〇〇六・一) (一)

特定の異性に対して他の全てを犠牲にしても悔い無いと思いつくような愛情をいだし、常に相手のことを思つては、二人だけでいい、二人だけの世界を分かち合いたいと願ひ、それがかなえられたと言つては喜び、ちよつとも疑念が生じれば不安になるといった状態に身を置くこと。

他の辞書の真似をしないとの方針を堅持している『新明解』は、その語釈も個性的で、読める(読んでおもしろい)辞書ともなっている。

この姿勢を推し進めると、創作的語釈に取り組んでみるという課題設定もできる。先例としては、『侏儒の言葉』(芥川龍之介 一九三〜一九

二五)や『悪魔の辞典』(A・ピアス 一九二二)などを挙げることできる(注7)。

さらに、相互に語釈を検討する場を設け、価値観・人生観・世界観についてのディスカッションを行い、その内容を深めることも期待できる。

第三章 方言を教材にした総合学習の展開

方言を教材にした総合学習の展開については、以下の諸方法が考えられる。

- ①カルタ・日めくり等の作成
- ②フィールドワーク
 - A. 方言グッズの収集・分析
 - B. 「出世魚」の比較
 - C. 俚言を含む「ことわざ」の収集・分析
 - D. 「ものもらい(麦粒種)」の直し方についての分析
- ③プレゼンテーション
 - A. 演劇・語り
 - B. 民謡・歌謡曲の創作、それらの舞踊・振付の創作
 - C. 地域の紹介

具体的な進め方については、拙稿(二〇一八)で取り上げたので、そこからゆずれ、さらに補足すべき展開例を付け加えることとする。

それは、右記②B. 「出世魚」の比較に関するものである。

一つの言語社会において、興味関心を強く寄せている分野の語彙は、豊富になる傾向がある。したがって、その意味分野が何かを探れば、その言語社会のありよう(歴史・風土など)を明確にすることができる。そうした意味分野を「言語的文化重点領域」と称することがある。その学習課題

として、次に四例を挙げてみよう。

(1) 語彙の豊富な意味分野は？

例えば、フランス語は農業語彙が豊富と言われている。科学技術の進んだ国ではあるが、穀物自給率も高く、農業国としての伝統が反映している。

日本語の方言では、雪の降る地域では、当然ながら、雪に関する語彙が多くなる。長野県と新潟県にまたがる豪雪地帯の秋山郷方言では、雪に関する語彙が二四〇を超えるという(その内容は、雪の降り方、積もり方・雪対策の道具や衣類など、広範囲におよぶ)。

こうした観点に立つて、地元の方言を見つめなおそうというのが課題である。

(2) 姓の特徴

チェコでは、魚を示す姓が少なく、鳥を示す姓が五四八種もあるという(注8)。

姓や地名などを語源から解釈する一方、分布の様子を観察することで、民俗学的な視点も意識しつつ、歴史や地理等に分野を広げた学びを展開することが期待される。

長野県の例であれば、「沢」のつく苗字の例とその由来を探ってみると等が考えられる。

(3) 校章の文化誌

新潟県十日町市は、雪との戦いが半年にもおよぶ豪雪地帯である。それを反映して、市内三〇校(小中高)の半数以上の校章は、雪の結晶をデザインしたものである。

そこで、自分の住む地域では、どのような状況かを探ろうというのが課題である。

ちなみに、長野県内は、桑をデザインした校章数が二二で、全国最多と言われている(注9)。かつての養蚕王国の名残である。

(4) 公共図書館の郷土資料の特設分類

地域の公共図書館を出発点に、他の地域との比較を試みる方法である。郷土資料は、通常のNDCによる分類に加え、多くの図書館が熱心に収集している分野があるものである。

管見では、次のような事例があった。

神奈川県立図書館(神奈川県) ……海難事故判例集

上越市立高田図書館(新潟県) ……スキー文献

十日町市立図書館(新潟県) ……雪の文献

市立飯山図書館(長野県) ……スキーと雪の文献

港町ならではの、雪国ならではの特徴が出ている。

また、県境の近い地域の図書館では、隣接県の郷土資料や地方紙を置いているところもある。長野県内の例では、

富士見町立図書館 ……『小淵沢町史』・山梨日日新聞

中軽井沢図書館 ……上毛新聞

御代田町立図書館 ……『安中市史』

など、山梨県、群馬県のものがある。

国語科の調べ学習の舞台となる図書館そのものを調査することで、地理・歴史等との総合学習へ発展させることが期待できる。

おわりに

主に語彙学習の観点から、いくつかの学習方略を挙げてきたが、国語科の学びの分野は広い。本稿でふれられなかった分野(情報の扱い方・考え方の形成など)については、今後の課題としたい。

注

注1 小林 努 「新しい学習指導要領について—中央教育審議会の議論から改訂へ—」『日本語学』三七—三(明治書院二〇一八・三)

注2 『中学校学習指導要領(平成29年告示) 解説 国語編』文部科学省(東洋館出版社 二〇一八・三)

注3 まず、テキストに新出する語彙をいくつ覚えたら、その言語が理解できるかという目安の数について。英語・フランス語・スペイン語

は、五千語覚得すると九〇%以上の理解が可能なのに対し、日本語を九〇%以上理解するために必要な語彙は、二万二千語と言われている。

なぜ、このような事情になるのかというと、同じ物事を指すのに複数の語が存在するからである。たとえば、

やど・旅館・ホテル

わざ・技術・テクニク

かた・形式・フォーム

のように、和語・漢語・外来語、それぞれにニュアンスの違いが込められ、その存在が求められているのである。

こうした事情を反映してか、昨今は、次に掲げるような小学生向けの語彙学習用書籍の出版が盛んである。

『マンガでわかる! 10才までに覚えたい言葉1000』(高濱正伸 監修 永岡書店 二〇一六)

『マンガ×くり返しでスィスイ身につく1200の言葉ドリル』

(陰山英男監修 リベラル社 二〇一八)

『こども語彙力1200』(齋藤孝 KADOKAWA 二〇一八)

『語彙力アップドリル』(齋藤孝 幻冬舎 二〇一八)

注4 和田利政・金田 弘『国語要説』五訂版（大日本図書 二〇〇六・四）六一頁

注5 たとえば、「画」について、つぎのような相違例がある。

ガ カク

慣用音 呉音・漢音 ……『新選漢和辞典』第七版

（小学館 二〇〇八）

呉音 漢音 ……『例解学習漢字辞典』第四版

（小学館 一九九七）

『全訳 漢辞海』第一版

（三省堂 二〇〇六）

慣用音 漢音 ……『旺文社 漢和辞典』第五版

（一九九三）

古い時代の資料は、ある程度に数が限られ、編集者の意見の相違が出やすいためである。

注6 円満字二郎『漢和辞典的に申しますと。』文春文庫（文藝春秋 二〇一七・三）二〇五頁。

注7 両書は、たとえば次のような警句を掲げる。

古典……古典の作者の幸福なる所以は兎に角彼等が死んでいる

ことである。『侏儒の言葉』

政治……仮装して行う利害得失の争い『悪魔の辞典』

注8 千野栄一「人名字と言語字」同氏『言語字のたのしみ』（大修館書店 一九八〇・二）九四頁

注9 和田 清『校章の自然誌』（信濃毎日新聞社 一九八五・六）九七頁

【参考文献】

大橋敦夫・阿部博美「方言と総合学習——高等学校での実践を例に——」

『ことばと文化』4（長野・言語文化研究会 二〇〇七・三）

大橋敦夫「上田の養蚕教育・養蚕学校」『地方教育史研究』35（全国地方

教育史学会 二〇一四・五）

大橋敦夫「方言を教材にした総合学習の展開——信州弁の日」のまとめ

を踏まえて——」『上田女子短期大学総合文化研究所 所報 學海』4

（二〇一八・三）

〔付記〕本稿は、平成三〇年度長野県国語国文学会春季大会・研究大会（於

上田市中央公民館 二〇一八・六・一六）における講演をふまえた

ものである。お話の機会を与えてくださった方々と、事後にご教示

をくださった皆様に感謝申し上げます。